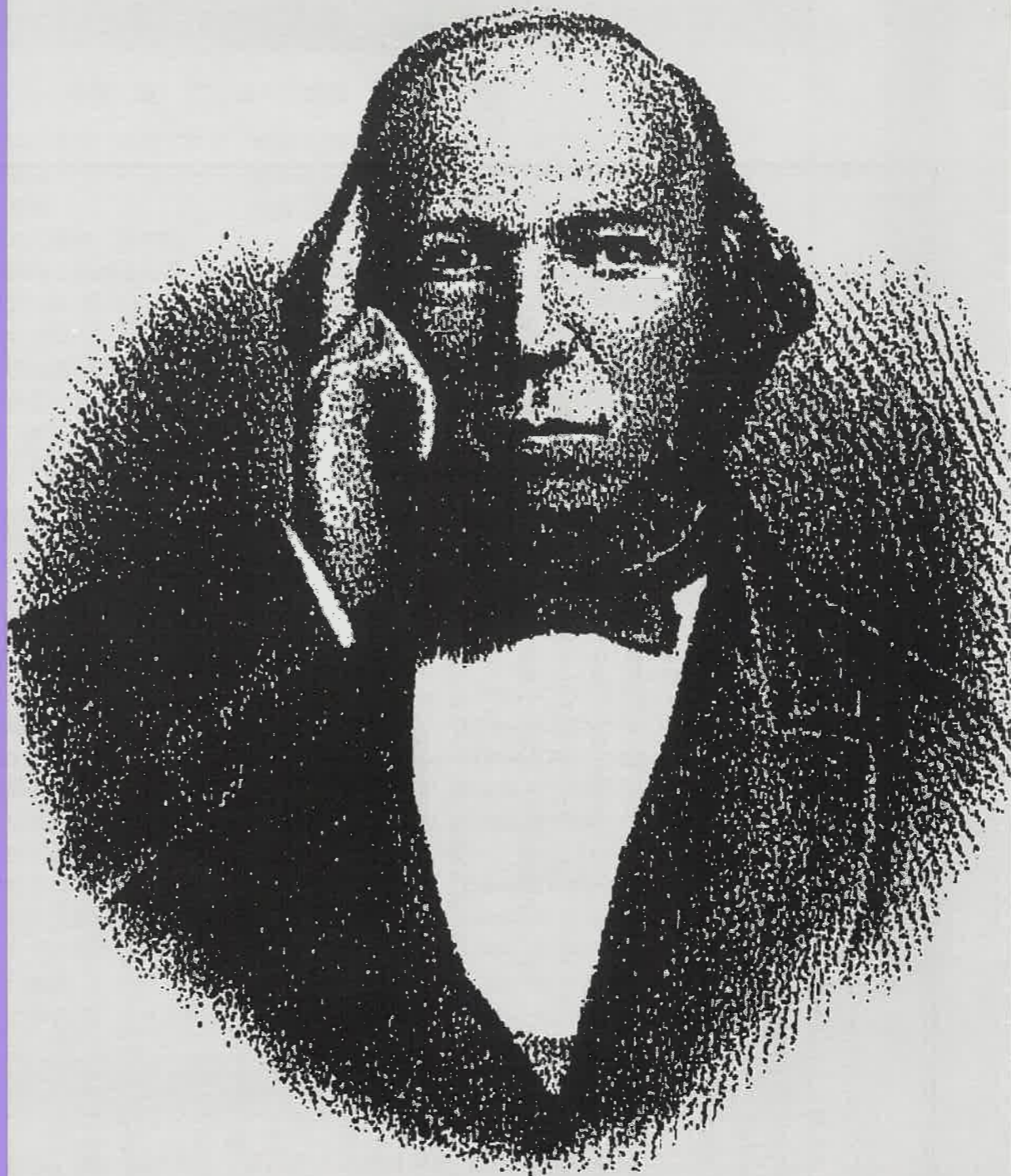


# 宗教学の形成過程

全9巻



*Herbert Spencer*

島蘭 進 監修

島蘭進・高橋原・星野靖二 編集

シリーズ日本の宗教学④ クレス出版

## 宗教学の形成過程

東京大学大学院人文社会系研究科教授

島 蘭 進

現在、私たちは「宗教」という言葉を当たり前のように用いているが、これは近代化の過程で西洋の religion の語の訳語として用いられるようになったもので、必ずしも日本の現実を踏まえて形作られた用語ではない。だから使いにくく、しっくりしない感じが伴う。何とかしっくりとする用法を探そうと模索が続けられている。しかし、大枠は明治期に定まっている。

ことは単に「宗教」という一つの用語だけに関わるものではない。「宗教」について考察するがっちりとした枠組みの全体がこの時期に定まっていき、今日に至るまで宗教について考察する際の礎石であり続けている。「原始宗教から文明宗教への進化」、「倫理を支えつつも倫理を超える宗教」、「仏教・キリスト教に通底する宗教的実存」などといった思考枠組みがそれだ。

「シリーズ日本の宗教学④ 宗教学の形成過程」では、こうした思考枠組みの形成過程をたどりうるように、明治時代の各時期各方面の意義深い著作を復刻して読みやすい資料とすることを目指した。ここで「宗教学」という語は広い意味で用いており、宗教について体系的に考察し理論化しようとする試み全般を指している。キリスト教の神学者、仏教の教学者、西洋哲学を学んだ哲学者等々もこの試みに加わっている。影響力が大きかった翻訳書も含まれている。

日本の学者や知識人が学ぼうとした欧米の宗教学もなお形成途上であり、時期をおって刻々と変化しつつあった。日本の宗教の現実に照らして納得する諸概念を形作っていく必要もあった。紆余曲折を経て、何とか「宗教」概念やそれをめぐる思考枠組みが体系的な形を整えていく。そしてそれと並行して、またその基礎を踏まえ、京都学派を初めとする近代日本の個性的な宗教思想も形成されていく。「宗教学」の形成をたどることは、明治期の宗教思想の展開を新たな目で見直すことでもある。

近代の宗教思想の再検討、また、近代的な宗教学や「宗教」概念の再検討は、今日切実さを増しているグローバル化にも大いに関わっている。明治期の学者や知識人は、世界共有の概念を用い、異質な他者の状況と比較しながら、日本の宗教や思想のあり方を捉え返そうとする試みに乗り出した。混迷や挫折とも見える試みもあり、今日に再利用が可能と思われる試みもある。それらの試みを今日、どのように受け継いでいくのか。この「宗教学の形成過程」が、宗教をめぐる現代の反省的学知の新たな展開に寄与するものとなることを願っている。

第1巻

宗教進化論

有賀長雄著／東洋館書店／明治16年

第2巻

弥見氏宗教三論

ミル著・小幡篤次郎訳／丸家善七／明治11年

宗教進化論

スベンサー著・高橋達郎訳／板垣退助／明治19年

宗教進化論

ケヤード著・融道玄訳／博文館／明治38年

第3巻

諸教便覧

高橋吾良著／十字屋／明治14年

神道新論

高橋吾良論述／高橋吾良／明治13年

仏道新論

高橋吾良論述／高橋吾良／明治13年

論 文 ゆにてりあん教々義問答、宗教起源論(フライデンル)、宗教の進化(神田佐一郎)、宗教の発達に関する科学の力(マーン)、宗教の研究法に就いて(井上哲次郎)、宗教発達の大意(辰巳小次郎)、宗教の観念(佐々木笑受郎)、知と信との關係(辰巳小次郎)、宗教の新系統(竹内楠三)、宗教学の必要を論ず(ムンチンゲル)、比較宗教学と基督教(三並良)

第4巻

世界二聖論

中西牛郎著／岡島宝文館／明治26年

科学的宗教

ケーラス著・長谷川誠也訳／鴻盟社／明治32年

論 文 宗教学(クラーク)、比較宗教学(藤島了穂)、原始信仰の梗概(服部宇之吉)

第5巻

宗教研究

岸本能武太著／警醒社書店／明治32年

比較宗教一斑

岸本能武太著／警醒社書店／明治35年

宗教の比較的研究

岸本能武太講演／東京専門学校出版部

第6巻

倫理宗教時論

岸本能武太著／警醒社書店／明治33年

現今将来 倫理及宗教

元良勇次郎著／勉強堂書店／明治33年

第7巻

宗教哲学

ハルトマン著・姉崎正治訳／博文館／明治31年

論 文 倫理以上の根柢(清沢満之)、宗教の超倫理(吉田賢龍)、宗教は超倫理?(中島徳蔵)、人生の理想と世界の根柢(藤井健治郎)、宗教と道徳の進歩(吉田賢龍)、宗教と超道徳(桑木巖翼)、宗教と道徳との關係(朝永三十郎)

第8巻

信仰問題

近角常観著／文明堂／明治37年

論 文 仏教倫理一斑、倫理及び宗教の關係論、吾人の宗教的経験と道徳との關係(村上專精)

第9巻

吾人の宗教

暁鳥 敏著／文明堂／明治35年

論 文 三教会同關係 解説

(二十)

宗 教 發 生 篇

第一章

宗教の根本は人々魂魄と身體との二物ありて死亡の魂魄身體を離出するなりとの妄信に在る事。

第一節 宗教ノ根本ハ諸宗ニ在ル

宇内の古今を見渡そに種々様々の人民あり、既又開化したる者あり、尙は野蠻なる者あり、開化したりといふ中も地と時とを依て其度の高さあり、低きあり、野蠻といふ中も亦種々雑多の異状ありて相同しからざるに從ひ、奉する所の宗教信仰の類も一々相同しからず、或は一神を拜するあり、或は多神を拜するあり、偶像を拜するあり、禽獸を拜するあり、草木を拜するあり、日月山川を拜するあり、土石木枝の如き凡物を

現今将来 倫理及宗教

も「物指」を以て物体の長短を測るが如きは到底爲し能はざるものなれば自然の變化社會の進化を以て倫理上の客觀的法則と見做すが如きは比較上精密なるものなりと信じて不可なかるべし

第九章 宗教論

宗教の意義、宗教の起原と其特質、客觀的觀察、主觀的觀察、知及情と宗教との關係、迷信は宗教の最大要素なり、宇宙感情、結論、

宗教の意義

先に宗教は益々人文的ならざる可らざることを論じたれども今少しく宗教の大体に關する思想を述べて特に倫理との關係を論ずるは大に必要あること、信ずる宗教とは何ぞや宗教とは倫理と密接に關係するものなりと雖も又た自ら異なる所あり倫理は其主觀的方面たると客觀的方面たるとを問はず結局人類相互間の關係を正すを以て目的となすものなり然るに宗教は人と天との關係より生ずる所のものにして假へば吾人が天變地異を見て恐怖の情を起し之に調和せんことを求むるときは己に宗教なり或は又情慾を満足せしめ全心之に依て安堵した

第九章 宗教論

九五

宗教哲学

第二章 神と人間と二面の宗教的關係

第一節 恩寵及信仰概論

上來人間一面としての宗教的機能を三種の方向より説明し了れり、此より此三種の方向は實は同一過程の異契機、同一根柢の順環表現し來る發達の階段、同一動機の異なる活動方向なるを明にせざるべからず。此三活動が元心理的結合なき者として、宗教的機能を竹木相接せるが如くに觀るは全く誤なり。

宗教的機能に於ける寫象の感情、意志の一致

ら又永く之にせまらざるは寫象自家の性能に存するにあらず。寫象は宗教的關係を結ばしむる助成規定なり、然れども又注意が此種の寫象を作るに向ふは不識なる宗教的衝動の發表にして、此の最先の衝動は其需要を満たすに適當なる寫象を求め、此に依りて發達す。意志も亦宗教的關係より出で、始めて宗教的意志となる、單に道徳は單に形而上學と同じく非宗教的なり、假令其に感情の結合はあるも、其感情亦宗教的にあらざるが故。感情も亦宗教的道徳若くは

# 宗教学の形成過程 全9巻 シリーズ日本の宗教学④

A5判/上製函入/クロス装 揃定価95,000円(税別)  
平成18年10月末日刊 ISBN4-87733-337-1(セット)

第1巻	宗教進化論	定価11,000円(税別)	338-X
第2巻	弥見氏宗教三論、宗教進化論	定価12,500円(税別)	339-8
第3巻	諸教便覧、神道新論、仏道新論 ほか	定価 8,500円(税別)	340-1
第4巻	世界三聖論、科学的宗教 ほか	定価 9,500円(税別)	341-X
第5巻	宗教研究、比較宗教一斑、宗教の比較的研究	定価11,000円(税別)	342-8
第6巻	倫理宗教時論、現今将来 倫理及宗教	定価10,000円(税別)	343-6
第7巻	宗教哲学 ほか	定価13,000円(税別)	344-4
第8巻	信仰問題 ほか	定価 8,500円(税別)	345-2
第9巻	吾人の宗教 ほか、解説	定価11,000円(税別)	346-0

## 既刊 日本人の身・心・霊——近代民間精神療法叢書 全8巻

吉永 進一 編・解説

- ① 精神統一 心理実験、臨床暗示 清水式心理療法
  - ② 心身修養 岡田式静坐法
  - ③ 心身修養 三摩地、身心解脱 耳根円通法秘録
  - ④ 精神霊動
  - ⑤ 心霊治療秘書、リズム学の精華 保健療法の原理
  - ⑥ 幽明の霊的交通、精神統一の心理
  - ⑦ 錬心術、最新精神療法
  - ⑧ 精神治療法、破邪顕正 霊術と霊術家
- 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-218-9(セット)

## 既刊 日本人の身・心・霊——近代民間精神療法叢書Ⅱ 全7巻

吉永 進一 編・解説

- ① 動物電気概論、催眠術に於ける 精神の現象 催眠術独習、催眠術の危険、附録資料6点
  - ② 仙家秘訣 無病長生法、内観的研究
  - ③ 岡田式 静坐三年、自働療法
  - ④ 心身修養療法原論、淨我の祈念
  - ⑤ 霊光録、神秘 霊道術講習録、岩田氏本能法教科書
  - ⑥ 霊術講座、三吉式 精神修養法
  - ⑦ 観自在術、心理療法全書
- 揃定価92,000円(税別) ISBN4-87733-241-3(セット)

## 既刊 催眠術の黎明——近代日本臨床心理の誕生 全7巻

吉永 進一 編・解説

1. 『哲学会雑誌』催眠関係記事、魔睡術 心理応用 魔術と催眠術、催眠術治療法
  2. 感応術及催眠術秘訣、教育上に応用したる 催眠術
  3. 学理応用 催眠術自在、人身磁力催眠術
  4. 催眠術及ブグゲスチオン論集、心霊療法講演集
  5. 実験精神療法、催眠心理学概論
  6. 小野催眠学
  7. 最新式 実験催眠術講義
- 揃定価90,000円(税別) ISBN4-87733-314-2(セット)

## 既刊 シリーズ日本の宗教学① 姉崎正治集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、高橋 原 監修・解説

第1巻	言語学的宗教学、比較宗教学	定価 9,030円(税込)	ISBN4-87733-161-1
第2巻	復活の曙光	定価11,550円(税込)	ISBN4-87733-162-X
第3巻	国運と信仰	定価13,440円(税込)	ISBN4-87733-163-8
第4巻	樗牛嘲風往復集、停雲集 南北朝問題と国体の大義	定価12,600円(税込)	ISBN4-87733-164-6
第5巻	宗教と教育	定価14,070円(税込)	ISBN4-87733-165-4
第6巻	新時代の宗教	定価 9,660円(税込)	ISBN4-87733-166-2
第7巻	世界文明の新紀元	定価11,550円(税込)	ISBN4-87733-167-0
第8巻	社会の動揺と精神的覚醒	定価 9,450円(税込)	ISBN4-87733-168-9
第9巻	論文集・解説	定価 8,400円(税込)	ISBN4-87733-169-7

A5判/上製函入/クロス装 揃定価99,750円(税込) ISBN4-87733-160-3(セット)

## 既刊 シリーズ日本の宗教学② 井上哲次郎集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、高橋 原 監修・解説

第1巻	西洋哲学講義 卷之一、倫理新説、勅語衍義 倫理と宗教との関係	定価10,500円(税込)	ISBN4-87733-173-5
第2巻	国民道徳概論	定価11,550円(税込)	ISBN4-87733-174-3
第3巻	巽軒論文初集、巽軒論文二集	定価12,600円(税込)	ISBN4-87733-175-1
第4巻	釈迦種族論、釈迦牟尼伝	定価 9,975円(税込)	ISBN4-87733-176-X
第5巻	哲学と宗教	定価18,900円(税込)	ISBN4-87733-177-8
第6巻	日本精神の本質 神道の特長に就いて	定価10,500円(税込)	ISBN4-87733-178-6
第7巻	東洋文化と支那の将来	定価 7,350円(税込)	ISBN4-87733-179-4
第8巻	懐旧録、井上哲次郎自伝	定価10,500円(税込)	ISBN4-87733-180-8
第9巻	論文集・解説	定価10,500円(税込)	ISBN4-87733-181-6

A5判/上製函入/クロス装 揃定価102,375円(税込) ISBN4-87733-172-7(セット)

## 既刊 シリーズ日本の宗教学③ 加藤玄智集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、前川理子、高橋 原 監修・解説

第1巻	宗教新論	定価10,500円(税込)	ISBN4-87733-220-0
第2巻	宗教講話、釈迦牟尼仏、心乃衛生	定価11,550円(税込)	ISBN4-87733-221-9
第3巻	我建国思想の本義 神人乃木將軍	定価11,550円(税込)	ISBN4-87733-222-7
第4巻	真修養と新活動	定価 9,975円(税込)	ISBN4-87733-223-5
第5巻	我が国体と神道、我が国体の特色と敬神の真意義 日本人の国体信念	定価13,650円(税込)	ISBN4-87733-224-3
第6巻	神道精義 太神宮参詣記と敬神尊皇	定価11,025円(税込)	ISBN4-87733-225-1
第7巻	神国民の知と行 学校教育と成層圏の宗教	定価13,650円(税込)	ISBN4-87733-226-X
第8巻	知性と宗教 聖雄信仰の成立	定価 9,450円(税込)	ISBN4-87733-228-6
第9巻	論文集・解説	定価 8,400円(税込)	ISBN4-87733-227-8

A5判/上製函入/クロス装 揃定価99,750円(税込) ISBN4-87733-219-7(セット)